

まずは3年生のみなさんに心より感謝します。どうもありがとう。それと同時に、みなさんにお詫びをさせて下さい。本当にごめんなさい。

3年生のみなさんには1年前期と2年後期に講義をしました。みなさんが1年生の時は新型コロナでオンライン対応になって2年目の時期でした。前回も書かせてもらったのですが、オンラインで試験を実施するスキルが無かったため、成績評価は以下のレポートで行いました。（ちなみに最終評価は毎回の小テストや発言ポイントも加味されます。）

本講義では試験を実施しないが、仮に講義室で試験があったとして、各自、次に示す試験問題とその模範解答を作成せよ。その際、以下の条件を満たすこと。

1. 受講者のほぼ全員が正解できる問題と模範解答
2. 受講者の1割程度のみが正解できる問題と模範解答

条件1：試験問題にオリジナリティがあること（他の受講者の問題とは異なること）。

（その他の条件は省略）

上記のレポートについては、新型コロナでオンライン対応だった期間中、基本的に同じ課題でした。すなわちみなさんの先輩も同じレポートに取り組んでおり、成績を単純に比較することができます。（もちろんこの原稿の執筆時点では後輩の成績とも比較できます。）みなさんの先輩のレポートは、年度・学年にかかわらず、いつでも平均70点ほどでした。それに対し、みなさんの1年前期のレポートは平均■■■■点でした（だいぶ低かったので黒塗りにしました）。出来がイマイチ、というものが明らかに多く、当時、なぜだろうと考えました。そして、これはおそらくみなさんのせいではない、という結論に至りました。どういうかという、先輩に実施した最初の頃のオンライン授業というのは、当然私には全く経験がなかったので、拙いなりに必死だったのだと思います。それに対し、みなさんにオンライン授業をする頃には私も少しは慣れ、特に手を抜いたつもりは無いですが、みなさんに熱意が伝わっていなかったのだと思います。結果として、講義を通じてみなさんを成長させることができませんでした。

その後、みなさんは2年生となり、再度私に講義をする機会がやってきました。みなさんに対して申し訳ないという思いだった私は、みなさんの名誉回復のため、すなわちみなさんの成績が悪かったのは担当教員である私のせいであることを勝手に証明するため、（具体的では無いですが）今までで一番気持ちを込めて授業をしました。実際には、ちょうど対面授業が再開できる時期だったため、「対面授業ってどうやってたっけ・・・」と必死な思いで授業せざるを得ない状況でした。オンライン授業で使っていた動画も全てアップロードし、いつでも復習できるようにしました。

そしていよいよ成績評価の時期となりました。対面試験を行おうとしたのですが、当日はあいにくの大雪で中止とし、幸か不幸か同じレポート課題で評価することになりました。結果として、みなさんのレポートは平均78点でした。素晴らしいオリジナル問題が明らかに多かったです。普段は外れる私の仮説も、この時ばかりは当たっていたようで、完全な自己満足ですが、みなさんの名誉を回復することができ、ほっとしました。

ということで、みなさんの1年前期の授業では、どこか私に慢心がありました。本当にごめんなさい。そして、それに気づかせてくれて、熱意をもって授業をするとそれに応えてくれるということを証明してくれたみなさん、本当にありがとうございました。